
企業会計基準委員会の活動状況議題 **(企業会計基準委員会からの報告)**項目

1. 前回基準諮問会議(第 27 回、平成 28 年 7 月 4 日開催)後の企業会計基準委員会(ASBJ)の活動状況は次のとおりである。

1. 中期運営方針の公表

2. 当委員会は、平成 28 年 8 月 12 日に、中期運営方針を公表した(別紙 1 を参照)。当該中期運営方針では、今後、開発に着手するか否かを検討するものとして以下を掲げているが、いずれも検討を開始していない。

日本基準を国際的に整合性のあるものとするための取組み

- (1) IFRS 第 9 号「金融商品」(分類及び測定、減損、一般ヘッジ)
- (2) IFRS 第 10 号「連結財務諸表」(連結範囲)(IFRS 第 11 号「共同支配の取決め」)
- (3) IFRS 第 13 号「公正価値測定」
- (4) IFRS 第 16 号「リース」
- (5) 引当金

その他の取組み

- (6) 減価償却

2. 日本基準の開発**(1) 現在の開発状況**

3. 現在の開発状況は、別紙 2 の「現在開発中の会計基準に関する今後の計画」に記載している。

このうち、収益認識に関する包括的な会計基準の詳細な検討状況については、資料(3)を参照のこと。

(2) 公開草案の公表

4. 平成 28 年 11 月 9 日に企業会計基準公開草案第 59 号「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準(案)」等を公表した(別紙 3 を参照)。

(3) その他

5. 第 348 回企業会計基準委員会（平成 28 年 11 月 4 日開催）より、適用後レビューの計画策定についての意見募集に関する審議を行っている。当該意見募集の文書は、年内に公表することを目標としている（資料(4)を参照）。
6. マイナス金利に関連する会計上の論点への対応について、対象となる会社数が多い 3 月決算会社の期末決算を見据えたスケジュールを勘案し、本年 3 月に議事概要を公表した以下の項目について、今後、審議を開始する予定である。

(1) 退職給付債務の計算における割引率

(2) 金利スワップの特例処理

3. 修正国際基準の開発

7. 平成 25 年（2013 年）中に IASB により公表された会計基準等のエンドースメント手続に関しては、平成 28 年 7 月 25 日に、改正「修正国際基準（国際会計基準と企業会計基準委員会による修正会計基準によって構成される会計基準）」を公表した（別紙 4 を参照）。
8. 現在、平成 26 年（2014 年）以降に IASB により公表された会計基準等のうち、平成 28 年（2016 年）から平成 29 年（2017 年）に発効される会計基準等を対象にエンドースメント手続を実施しており、今後、公開草案を公表する予定である。

なお、その後は、次の会計基準について、記載の順番で個々にエンドースメント手続を実施し公開草案を公表する予定である。

- (1) IFRS 第 15 号「顧客との契約から生じる収益」（これに関連する「IFRS 第 15 号の発効日」（2015 年 9 月公表）、「IFRS 第 15 号「顧客との契約から生じる収益」の明確化」（2016 年 4 月公表）を含む。）
- (2) IFRS 第 9 号「金融商品」（2014 年）
- (3) IFRS 第 16 号「リース」

4. 国際対応

(1) 国際的な意見発信

9. 前回の基準諮問会議以後、平成 28 年 7 月及び 9 月に開催された ASAF 会議に出席し、のれん、IASB の概念フレームワークの見直し等について意見発信を行っている。
10. のれんについては、IASB からの依頼により、ASBJ スタッフが欧州財務報告諮問グループ（EFRAG）スタッフと協力して、のれんの残高の推移等に関する定量的なデータの分析を行い、平成 28 年 7 月に開催された ASAF 会議にて報告を行っている。

その後、当該データの分析は、平成 28 年 10 月 3 日に、リサーチ・ペーパー第 2 号「のれん及び減損に関する定量的調査」として公表している（別紙 5 を参照）。

11. また、ASBJ は、純損益に関する議論に関して継続的な意見発信を行っており、平成 28 年 9 月に開催された ASAF 会議において、純損益と測定との連携に関するペーパー「財務業績と測定との連携」を提出して、議論が行われた（別紙 6 を参照）。

(2) 他の国及び地域との連携

① 米国財務会計基準審議会（FASB）との定期協議

12. 米国財務会計基準審議会（FASB）との第 20 回の定期協議が、平成 28 年 8 月 25 及び 26 日にノーウォークで開催され、意見交換を行った。

② アジア・オセアニア会計基準設定主体グループ（AOSSG）中間会議への参加

13. アジア・オセアニア会計基準設定主体グループ（AOSSG）の中間会議が、平成 28 年 9 月 25 日にロンドンで開催され、当委員会も同会議に出席し、意見交換を行った。

③ 世界会計基準設定主体（WSS）会議への参加

14. IASB と各国の会計基準設定主体による世界会計基準設定主体（WSS）会議が、平成 28 年 9 月 26 日及び 27 日にロンドンで開催され、当委員会も同会議に出席し、意見交換を行った。

④ 会計基準設定主体国際フォーラム（IFASS）会議への参加

15. 会計基準設定主体国際フォーラム（IFASS）会議が、平成 28 年 9 月 27 日及び 28 日にロンドンで開催され、当委員会も同会議に出席し、意見交換を行った。

⑤ 日中韓 3 カ国会議への参加

16. 中国、韓国及び日本の各会計基準設定主体による日中韓 3 カ国会議が、平成 28 年 10 月 13 日に東京で開催され、意見交換を行った。

⑥ 多国間ネットワーク会議への参加

17. 米国、カナダ、ドイツ、英国及び日本の各会計基準設定主体による多国間ネットワーク会議が、平成 28 年 10 月 27 日及び 28 日にノーウォークで開催され、意見交換を行った。

(3) IFRS 適用課題対応専門委員会の活動

18. IFRS 適用課題対応専門委員会は、以下を目的としている。
 - (1) IFRS 解釈指針委員会の議論を適時のフォロー

資料(2)

(2) 我が国における IFRS の適用上の課題への対応

19. 本年 10 月より、日本基準で開発中のリスク分担型企業年金の IFRS における取扱いの検討を行っている。

以 上